

教科名	国語科	校種	高等学校
-----	-----	----	------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年	国語総合	必	4	現代文2単位、古典2単位
2年	現代文B	必	2	
	古典B	必	3	
3年	現代文B	必	3	
	選択現代文	選	2	
	選択古典	選	2	

科目名(教科名)	国語総合・現代文 (国語科)				
担当教員	矢萩 直人				
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 近代以降の様々な文章を読み、難解な文章に対応できる語彙力を養い、要旨をまとめ主題に迫る力を養う。
2. 様々なジャンルの文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。
3. 受験に必要な現代文の基礎学力を身につけるとともに、優れた表現力を養う。

■ 授業計画 ※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある

学期	授業の項目	内容
1学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を的確にとらえる ・論の進め方と具体例の用い方に注意して、論旨を把握する
2学期	小説 評論	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に即して、情景や人物の心情を読み取る ・場面の展開に応じた表現の工夫を読み味わう ・論の展開に注意して、中心となる話題を正確に理解する
3学期	小説 評論	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価し、作者の意図をとらえる ・小説を読み、読書への関心を高める ・評論文の構成や論の展開の仕方を理解し、内容を的確にとらえる ・筆者の考えを理解し、自らのものの考え方、感じ方を深める
通年	文学史 漢字・語彙 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学史の展開を学ぶ ・小テストを実施 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる
評価の観点	【関心・意欲・態度】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	【話す・聞く能力】	目的や場に応じて効果的に話したり、聞いたり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	【書く能力】	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	【読む能力】	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	【知識・理解・技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法： 定期試験と平常点（提出物、小テスト等）により、各学期の成績を算出する。 ● 割合： 定期試験70% 平常点30% 現代文と古典を各50%にして合算し、国語総合として評価する。	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書： 「精選国語総合」（東京書籍） ● 問題集： 「日本文学史ノート」（桐原書店） ● 副教材： 「精選国語総合学習課題ノート」（東京書籍） 「常用国語便覧」（浜島書店） 「漢検 10日のできる練習問題集 3級」（日本漢字能力協会） 	

科目名(教科名)	国語総合・古典 (国語科)				
担当教員	巽 和貴				
学年	1	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 古文と漢文を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、その背景となった時代考証を学ぶ。
2. 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解し、主題や要旨を的確にとらえる。
3. 作品に表れた人間、社会、自然等に対する思想や感情を理解し、ものの見方、感じ方、考え方等を豊かにする。

■ 授業計画

※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある

学期	授業の項目	内容
1 学期	文法	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを正しく理解し、古文の特徴をつかむ ・品詞の種類、活用を理解し、古語辞典が引けるようになる ・用言の活用について正確に理解する ・助動詞の意味と用法を正確に理解する ・古人の生き方に触れ、古文を読む楽しさを知る ・中世のものの考え方や見方、感じ方を理解する ・音読を通して漢文の表現に慣れる ・故事を通し、古代中国の人々の知恵を知る ・再読文字・置き字の用法を理解する ・古典についての基本的知識を学び、古典芸能のすばらしさを体感する
	説話・随筆	
	格言と故事	
	古典芸能鑑賞	
2 学期	物語	<ul style="list-style-type: none"> ・文学史的意義について理解する ・平安時代の人々のものの見方、感じ方を味わう ・「歌物語」の特徴を理解する ・登場人物の心情と行動を読み取る ・助詞の働きを理解する ・日記文学の文学史的意義について理解する ・当時の旅の苦労や筆者の心情を読み取る ・漢文の文章を訓点に従って正確に読み、その内容を理解する ・寓話に込められた古代中国の人々の考え方について理解を深める
	日記	
	寓話	
3 学期	物語	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の武士の考え方や生き方について理解を深める ・軍記に固有の韻律や表現を読み味わう ・和歌の韻律や表現の特色を学び、和歌の世界に親しむ ・和歌に描き出された情景や歌人の心情を読み取る ・漢詩の種類と形式を学ぶ ・漢詩文を通し、唐時代の人々のものの見方、感じ方を味わう
	和歌	
	漢詩	
通年		<ul style="list-style-type: none"> ・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ ・古文単語の語彙力を高める ・漢文の句形に関する知識を身につける
評価の 観点	【関心・意欲・態度】	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている
	【読む能力】	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている
	【知識・理解】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている

評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点(提出物、小テスト等)により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験70% 平常点30% 現代文と古典を各50%にして合算し、国語総合として評価する。
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 「精選国語総合」(東京書籍) ● 問題集 : 「体系古典文法準拠ノート」(数研出版) 「日本文学史ノート」(桐原書店) 「進研WIN STEP 古典1」(Learn-s) ● 副教材 : 「精選国語総合学習課題ノート」(東京書籍) 「体系古典文法」(数研出版) 「常用国語便覧」(浜島書店) 「古文単語330」(いっずな書店) 「漢文ヤマのヤマ」(学研)

科目名(教科名)	現代文B (国語科)				
担当教員	田中 絢子				
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 近代以降の様々な文章を読解する能力を高める。
2. 様々な文章を読むことで、思考力や物事を熟考する姿勢を養い、語彙を豊富にする。
3. 進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章から、論理の働きによって自らの概念の成り立ちを分析する ・論理的な文章を通して、現代社会や時代のありようを読み解き、社会についての自分の考えを発展させる ・文学的な文章にあらわれた、人物の喜びや悲しみなどの心情をリアルにとらえ、優れた描写を味わう ・韻文を読んで、その表現上の特徴に留意しながら情景や心情をとらえ、自然に親しむ態度や、人生について考える態度を養う
	小説	
	詩歌	
2 学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章をその論理の展開を把握するだけでなく、そこに込められた筆者の物の見方・考え方を学ぶ ・優れた小説を通して、人間や社会について考えるとともに、読書に親しむ態度を養う ・演習問題を解き、読解力を養う
	小説	
	演習問題	
3 学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで培ってきた総合的な国語の力を応用し、作品の読みから深い知恵を導き出す方法を学ぶ ・本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶ ・資料を基に客観的に意見を伝える方法を身につけ、伝え合う力や態度を養う ・演習問題を解き、読解力を養う ※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある
	小説	
	実用文の表現	
	演習問題	
通 年	文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学史の展開を学ぶ ・小テストを実施
	漢字・語彙	

評 価 の 観 点	【関心・意欲・態度】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	【話す・聞く能力】	目的や場に応じて効果的に話したり、聞いたり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	【書く能力】	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	【読む能力】	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	【知識・理解・技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点 (提出物、小テスト等) により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験70% 平常点30%
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 「精選現代文B」 (東京書籍) ● 問題集 : 「日本文学史ノート」 (桐原書店) 「進研WIN STEP 現代文2」 (Learn-s) ● 副教材 : 「精選現代文B学習課題ノート」 (東京書籍) 「常用国語便覧」 (浜島書店) 「大学入試 銀の漢字 必修編」 (水王舎)

科目名(教科名)	古典B (国語科)				
担当教員	矢萩 直人				
学年	2	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
2. 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする。
3. 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しみながら、日本文化の特質を理解する。

■ 授業計画

※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある

学期	授業の項目	内容
1学期	古典文法 説話・物語 漢文 古典芸能鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要なきまりなどについて理解を深める ・歴史的・文化的背景の違いをふまえ、当時の人々のものの見方や感じ方、考え方を味わう。 ・基本的な知識を確認しながら、中国文学、中国文化を理解し、読解を進める ・古典についての基本的知識を学び、古典芸能のすばらしさを体感する
2学期	日記 和歌と歌謡 漢文	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名散文の表現性ととも、みづからの心を自由に表現した日記文学を読み味わう ・古典文学の最も伝統的な形態である和歌を通じ、歌風の特徴や変遷を理解し、作者の心情を読み取る ・格調高い文章の良さを味わい、中国の歴史上の物語を読み解くことで、人間の心理を理解する
3学期	随筆 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容、解釈をふまえ、自分のものの見方や感じ方、考え方を深める ・漢詩の法則やその歴史について学び、自然・社会・人生・愛情などの詩的情趣を感じ取る
通年		<ul style="list-style-type: none"> ・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ ・古文単語の語彙力を高める ・漢文の句形に関する知識を身につける
評価の観点	【関心・意欲・態度】	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている
	【読む能力】	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている
	【知識・理解】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている

評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点 (提出物、小テスト等) により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験 70% 平常点 30%
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 「精選古典B 古文編」 (東京書籍) 「精選古典B 漢文編」 (東京書籍) ● 問題集 : 「体系古典文法準拠ノート」 (数研出版) 「日本文学史ノート」 (桐原書店) ● 副教材 : 「精選古典B 古文編 学習課題ノート」 (東京書籍) 「精選古典B 漢文編 学習課題ノート」 (東京書籍) 「常用国語便覧」 (浜島書店) 「体系古典文法」 (数研出版) 「古文単語330」 (いっぴいな書店) 「漢文ヤマのヤマ」 (学研)

科目名(教科名)	現代文B (国語科)				
担当教員	紅谷 一花				
学年	3	単位数	3	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 近代以降の様々な文章を読解する能力を高め、物の見方、感じ方、考え方を深め人生を豊かにする態度を育てる。
2. 言語感覚を磨き、優れた表現力を養うとともに、大学入試に対応できる語彙力を身につける。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文章に即して的確に読み取る ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養う ・大学入試レベルの演習問題を行い、評論の読解・内容理解・解答の作り方を学ぶ ・様々な文章(志望理由書・自己推薦書)の書き方を練習する
	小説 問題演習	
	表現活動	
2 学期	評論	<ul style="list-style-type: none"> ・他者や異文化世界についての評論を読み、さまざまな見方があることを知る ・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を的確に理解して味わう ・問題の読解力、思考力、記述力を高める
	小説	
	問題演習	
3 学期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の入試問題に当たり、読解力や知識を身につける <p>※生徒の実態に応じて内容、進度が変更されることがある</p>
通 年	文学史	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学史の復習 ・小テストを実施
	漢字・語彙	
評 価 の 観 点	【関心・意欲・態度】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	【話す・聞く能力】	目的や場に応じて効果的に話したり、聞いたり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	【書く能力】	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	【読む能力】	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	【知識・理解・技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 の 方 法 と 割 合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点(提出物、小テスト等)により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験70% 平常点30% 	
教 科 書 ・ 副 教 材 等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 「精選現代文B」(東京書籍) ● 問題集 : 「完成日本文学史ノート」(京都書房) ● 副教材 : 「精選現代文B学習課題ノート」(東京書籍) 「常用国語便覧」(浜島書店) 「演習入試漢字コア2800」(桐原書店) 	

科目名(教科名)	選択現代文 (国語科)				
担当教員	紅谷 一花 巽 和貴				
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	選択

■ 授業の目的

1. さまざまな文章に触れ、「読む力」「書く力」「話す力」を見直し、総合的な国語力の向上を図る。
2. 大学入試をはじめ、社会の中で生きていくために必要な語彙力を蓄え、正しく運用する能力を育てる。
3. 大学入試をはじめ、社会の中で生きていくために必要な文章読解力を育てる。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
2学期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
3学期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
評価の観点	【関心・意欲・態度】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	【話す・聞く能力】	目的や場に応じて効果的に話したり、聞いたり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	【書く能力】	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	【読む能力】	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	【知識・理解・技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点(提出物、小テスト等)により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験70% 平常点30% 	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 必要に応じて購入 ● 問題集 : 「完成日本文学史ノート」(京都書房) 必要に応じて購入 ● 副教材 : 「常用国語便覧」(浜島書店) 「演習入試漢字コア2800Plus」(桐原書店) 	

科目名(教科名)	選択古典 (国語科)				
担当教員	長谷 智美 田中 絢子				
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	選 択

■ 授 業 の 目 的

1. 大学入試に対応できる古語・文法の知識や漢文の訓読法や知識を身につける。
2. 古文・漢文特有の文体に慣れ、大学入試に対応できる「読解力」を養う。
3. 古典に親しむことによって人生を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める

■ 授 業 計 画

学 期	授 業 の 項 目	内 容
1 学 期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
2 学 期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
3 学 期	問題演習	・入試問題演習によって読解力・思考力・表現力を身につける
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から近世までの文学史の展開を学ぶ ・古文単語の語彙力を高める ・漢文の句形に関する知識を身につける 	
評 価 の 観 点	【関心・意欲・態度】	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている
	【話す・聞く能力】	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている
	【知識・理解】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている
評 価 の 方 法 と 割 合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 : 定期試験と平常点 (提出物、小テスト等) により、各学期の成績を算出する。 ● 割合 : 定期試験 70% 平常点 30% 	
教 科 書 ・ 副 教 材 等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : 必要に応じて購入 ● 問題集 : 「完成日本文学史ノート」 (京都書房) 必要に応じて購入 ● 副教材 : 「常用国語便覧」 (浜島書店) 「体系古典文法」 (数研出版) 「古文単語330」 (いっぴな書店) 	